

気仙沼湾・広田湾貝毒プランクトン調査結果

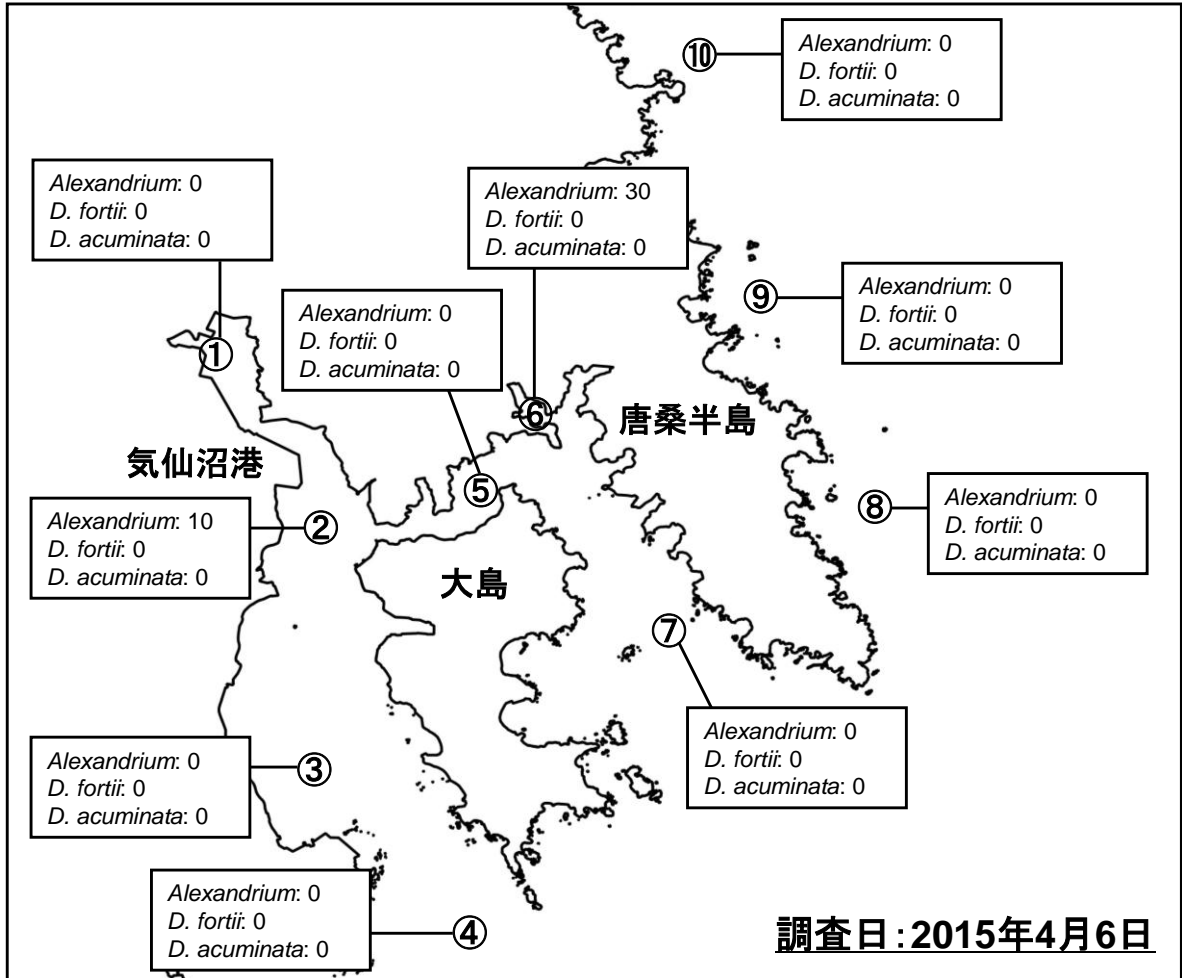


表: 今回(4月6日)の調査結果

調査地点	水温	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)				備考
			Alexandrium	Dinophysis			
				D. fortii	D. acuminata	その他のDinophysis	
① 港町	7.35	32.68	0	0	0	0	
② 母体田	7.79	32.63	10	0	0	0	
③ 二ツ根	8.76	31.87	0	0	0	0	
④ 岩井崎	7.76	32.85	0	0	0	0	
⑤ 大島瀬戸	7.86	32.36	0	0	0	0	
⑥ 舞根	7.51	32.86	30	0	0	0	
⑦ 唐島	8.08	32.69	0	0	0	0	
⑧ 滝浜	-	-	0	0	0	0	
⑨ 石浜	-	-	0	0	0	0	
⑩ 大沢	6.30	-	0	0	0	0	

※Alexandriumは麻痺性貝毒、D. fortiiとD. acuminataは下痢性貝毒の原因プランクトンです。

※水温、塩分、プランクトンは水深0~10 mの柱状採水によるサンプルのデータです。

